

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（天竜中）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

＜学校から地域へのお願いとご相談＞

- ① 休日の学校部活動地域移行 ②地域事業所への職場訪問サポート ③いじめの問題と校則の見直し

＜地域と学校で共同＞

- ① 桜並木の保全活動 ②地域ボランティア活動のサポート

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校運営の基本方針について校長先生より丁寧な説明があり、委員各位の活発な意見もあって、委員全員で基本方針について共有できた。学校経営は学校運営の基本方針に沿って丁寧に運営されており、生徒と先生の信頼関係も構築できている。次年度も熟議を通じてこの流れを継続していきたい。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

休日の学校部活動の地域移行については部活ごとの課題、活動方法、活動場所、指導者の確保等、移行に向けての熟議と準備ができている。いじめ問題については学校側から現状についての説明があり、いじめの早期発見や問題発生時のいじめ対策委員会による組織的な対応等、迅速に対処されている事がよく理解できた。職場体験については学校側と地域で作業分担することで効率的な準備ができ、事業所の拡大もできた。桜並木の保全活動や地域ボランティア活動の支援についても積極的に対応することができた。生徒会主導の校則の見直しも改善は着実にできている。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

熟議の内容は学校のホームページに会議録を掲載して、保護者や地域に公開している。またPTA機関紙『竜想』や学校だより『天中通信』等で活動内容を掲載している。自治会連合会定例会の場で、熟議した内容について逐次報告している。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

基本的には前年度からの継続性を重視したい。

- ① 学校部活動の地域移行 移行のための課題を整理しその解決策を熟議する。
- ② いじめ問題 見逃しゼロに努め、いじめが重大化しないように俊敏に対処する。
- ③ 職場訪問・職場体験のサポート 地域の支援をもとにした受け入れ体制の充実を図る。
- ④ 生徒の地域ボランティア活動のサポート 活動を通じて地域とのかかわりを促進させる。
- ⑤ 桜並木の保全活動 活動の継続
- ⑥ 校則の見直し 生徒会活動の進捗